まちのたまり場づくり

まちづくりコース研究法
11クラス（戸田クラス）

目次

1. 対象地区

2. まちづくりディスカッション

3. 提案のコンセプト

4. 各自提案まとめ

5−1. コミュニティ・チーム

5−2. 地域ブランド化・チーム

5−3. 情報発信・チーム

1.対象地区： ばったり堂周辺概要

〇位置
- 豊橋駅よりm
- 松山小学校前

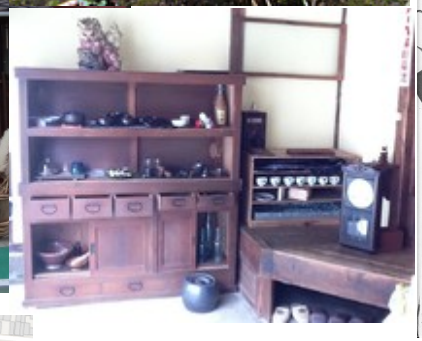
〇建物
- 木造のまちや

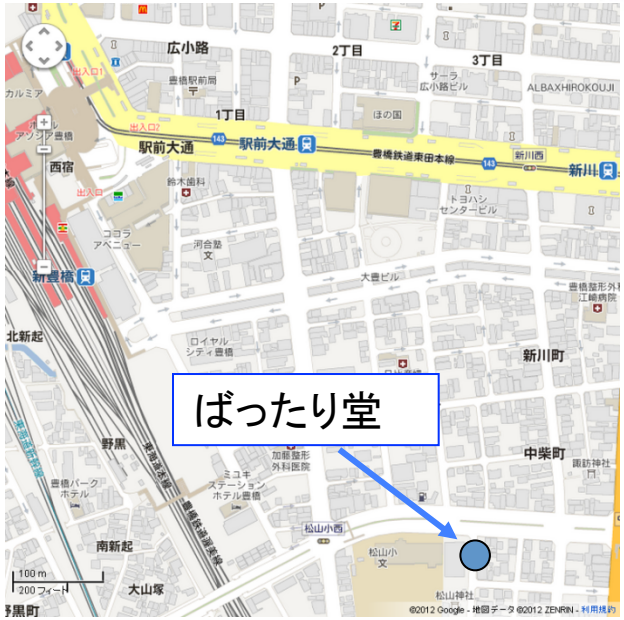
〇以前の使われ方
- 駄菓子屋＆文房具屋

〇現在の使われ方
- コンセプト
「ばったり堂でばったりと」
- 利用例
  妖怪ハンコ展

〇所有者
- 内浦さん

外観





イベント

2.まちづくりディスカッション実施の記録（第１回）

日　時：11月10日（土）
　　午後5時～午後8時まで
場　所：ばったり堂（豊橋市松山町）
地域側参加者：

中柴町自治会長	吉見　泰典様
明るい社会づくり豊橋地区会長	林　　尚彦様
商工会議所女性会副会長	鈴木　美江様
内浦接骨院長	内浦　宰司様
㈱うちうら代表取締役	内浦　有美様
まちなか活性課主幹	伊藤　紀治様

ディスカッションの内容

〇進め方：
学生からのまちづくりアイディア提案と意見交換
〇ディスカッションのポイント：
・若い力を見せることが重要。
・身近な物、地域に根付いたものからのまちづくり
・世代ごとに適した情報の伝達が重要
・独創性（似たようなもの、真似事でだめ）
・たまり場の需要はたくさんある（若者だけではない）
・自分たちの行動を魅せ、協力をしてもらう（してくれる）

2.まちづくりディスカッション実施の記録（第2回）

日　時 ：11月27日（火）
　　17時～20時まで
場　所 ：ばったり堂（豊橋市松山町）
参加者：吉見秦典様（中柴町自治会長）
　　内浦有美様
　　<愛知大学>
　　地域政策学部　戸田敏行教授
　　地域政策学センター　花井研究員
　　学生3名
　　（高橋梨夏、山影駿、岩田太呂）

当日の議論概要

シェアハウス
- テーマをはっきりすること
- 食をテーマにするなら、食にこだわっているひと同士が集まり、学生だけに絞らず、大人と一緒にシェアする方がいい。

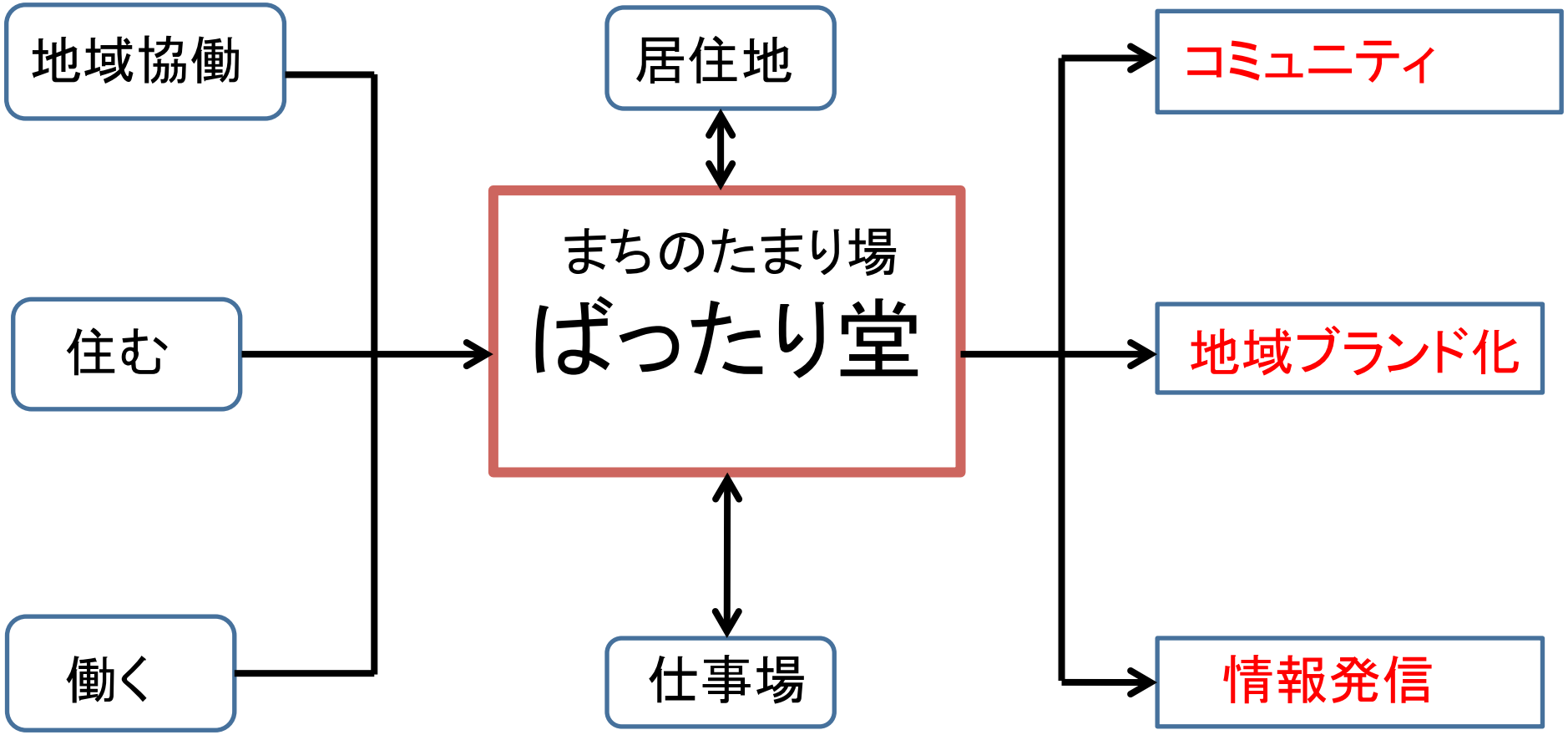
スポーツバー
- テレビで放送されているスポーツを見るだけだと、家で見るのと変わらないため、ばったり堂のある松山地区で行われているスポーツを観戦したら、地域の人々が集まってくるのではないか

まちやに泊まろう
- ばったり堂とホテルとがコラボする提案は面白い
- コラボする際、ホテル側とばったり堂側それぞれのメリットをより具体的にする必要がある。

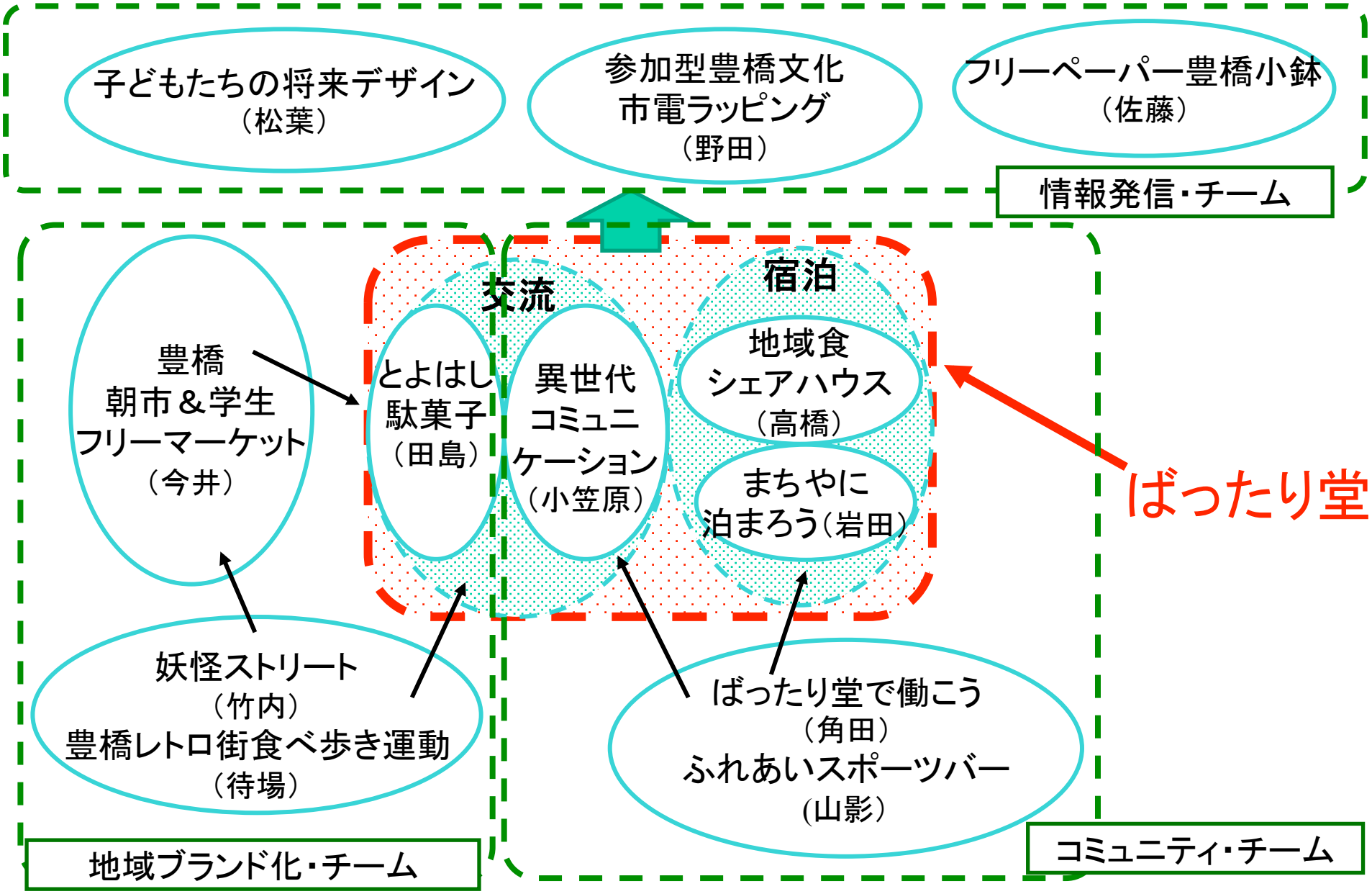
3.提案のコンセプト

ばったり堂を核として、松山地区をどう発展させるか

学生が考える「まちのたまり場」

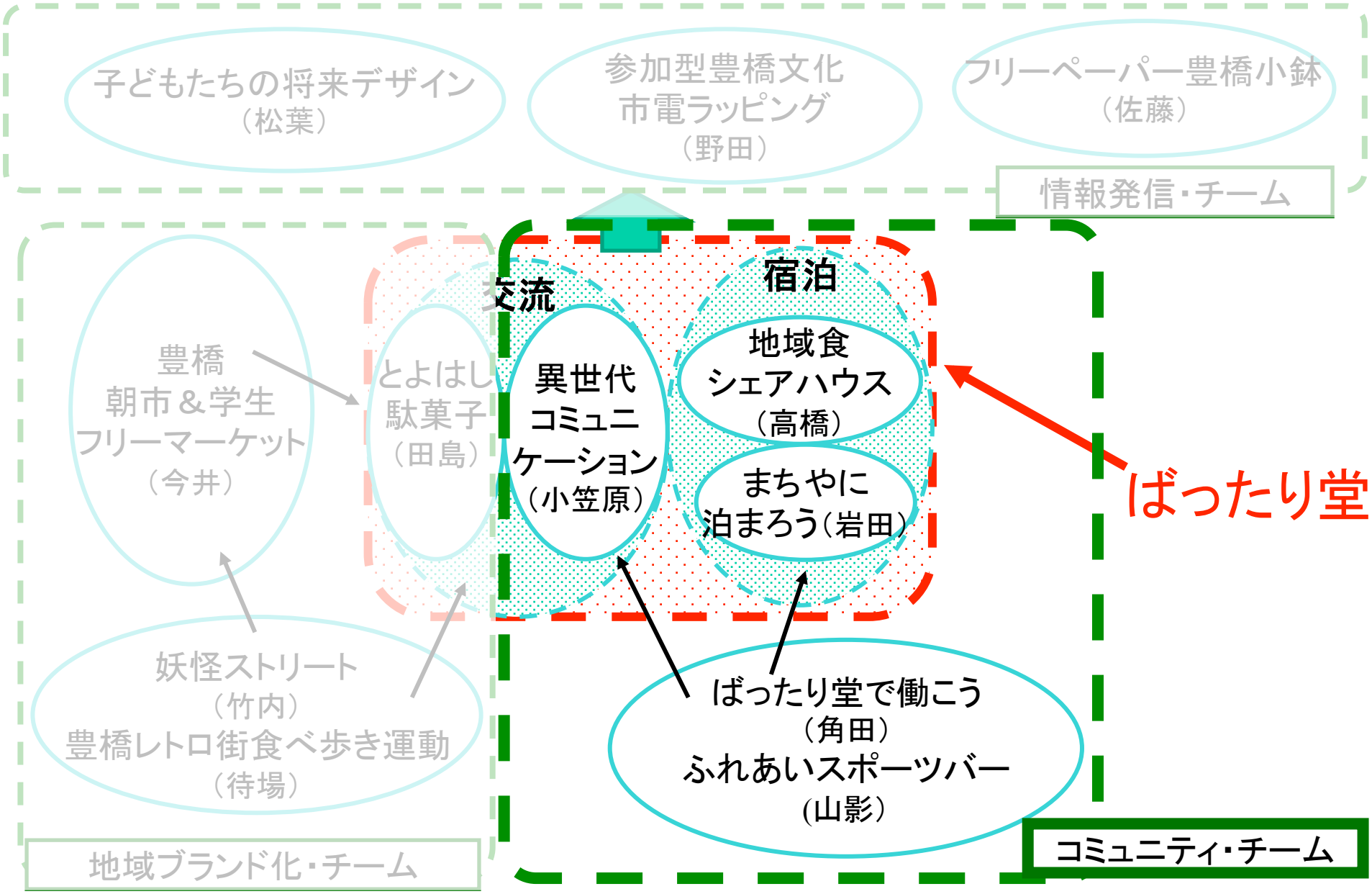


4. 各自提案まとめ


子どもたちの将来デザイン
（松葉）
参加型豊橋文化
市電ラッピング
（野田）
フリーペーパー豊橋小鉢
（佐藤）
情報発信・チーム
交流
宿泊
豊橋
朝市＆学生
フリーマーケット
（今井）
とよはし
駄菓子
（田島）
異世代
コミュニ
ケーション
（小笠原）
地域食
シェアハウス
（高橋）
まちやに
泊まろう（岩田）
ばったり堂
妖怪ストリート
（竹内）
豊橋レトロ街食べ歩き運動
（待場）
ばったり堂で働こう
（角田）
ふれあいスポーツバー
（山影）
地域ブランド化・チーム
コミュニティ・チーム

5−1　コミュニティ・チーム

5-1. コミュニティ・チーム



テーマ型シェア

地域食シェアハウス

学生 × 大人

ねらい

松山地区やばったり堂周辺は地域の人々との交流が深く豊橋駅周辺でまちおこしイベントなどを開催しているが、豊橋駅周辺にある大学の学生との交流が少ないと感じた。そこで、豊橋の食材をアピールしながら学生と交流するために、ばったり堂を利用した学生と大人が共に生活するシェアハウスを提案する。

シェアハウスの事例

「新食環シェアハウス」@東京都新宿区

「食」と「環（コミュニティー）」をテーマに、団地を利用して農園をしたり、そこでとれた食材を利用して、料理に関心のある人や都心部ではなかなかできない農業に興味のある人が気軽に集まれる場所を設けた。

地域の人は・・・

中柴自治会長　吉見さん

- 学生と話す機会がなかなかないので学生との交流にはとても興味がある。
- 学生に豊橋駅周辺にあるお店を大人が案内するのはおもしろい。
- 学生の口コミも大きな情報発信。

共同生活

豊橋で農家を営む方や食に詳しい方料理家の方が、学生と一緒にばったり堂でシェアすることで、学生が普段ではできない農家や料理の実生活を体験したり話を聞いたりする。

シェア期間は**1ヵ月**
（学生アンケート調査より）

イベント参加

豊橋駅前で開催されているイベントや、ばったり堂付近で行われているイベントにシェアしている学生と大人が、農家で採れた食材やそれを使った料理などを販売し、地域や地域外の人に豊橋の食をアピールする。

交流

イベント参加後に再びばったり堂に集まり、1階を利用して交流も兼ねた食事会を行う。そこではお酒を交えながら、料理に関することはもちろん、学生は大人に将来のことや、逆に大人は今の学生の意見などを話しお互いにメリットのある交流会にする。

まつやま異世代コミュニケーション

利用場所：ばったり堂

背景とねらい

住宅街が広がる場所で、気軽にたまることのできる場所、『大人のたまり場』を作りたくて提案をした。
普段生活している中で、学生が大人と話す機会は少ない。大人の意見を聞き、世代の違う人たちと交流することができる学生の学び場を作る。また、大人の方に学生の若いエネルギーを受け、元気をもらってほしい。

たまり場の事例

おもしろ荘（静岡県・富士市）

NPO法人ゆめ・まち・ねっとによる子どものたまり場、大人のだべり場。2011年3月から静岡県富士市・旧東海道沿いの商店街の空き店舗を活用して行われている。

ときにはジャズとオシャレにたまる！

時には楽器プレイヤーを招いて、世代関係なく楽しめるオシャレな音楽を聞きながら、会話を楽しむ。

豊橋駅から徒歩7分

学校、バイト、仕事帰りに寄ってもらう

スケジュール

〇月～金〇
自由に開放し、話したい人、たまりたい人の集い場にする。

〇休日・祝日〇
学生のホンネを聞く会
学生のいま悩んでいること、思っていることを人生の先輩である大人たちに聞いてもらい、アドバイスをもらう会。

オトナのホンネを聞く会
大人がいまの若者に対して気になることを聞き、言いたいことを言って、若いパワーをもらう会。

〇不定期イベント〇
テーマを絞って異世代の人とトークする。
例）学生の知らない豊橋の魅力

運営方法

≪運営団体≫
松山校区自治会、中柴町自治会
ばったり堂、豊橋市まちなか活性課
愛知大学地域政策部学生

熟年 自治会 ＋ 若者 学生

元気 経験

異世代コミュニケーション

ときにはお酒をかわして！

お酒を飲めば、緊張してしまう初対面の人や年上の方ともリラックスして会話ができてしまうもの。
時にはお酒の力を借りて、ぶっちゃけトーク！

松山地区は若者に比べ、年配の方が多い
→若者と接する機会少ない

まちづくりディスカッション・吉見さんのご意見

若い学生と話がしたい。若い人の意見を聞いて、時代の流れを取り入れたい。引き揚げのときの話も聞いてもらいたいなあ。もし実現するのであれば、行ってみたい！

(中柴町自治会長・とよはし市電を愛する会 理事)

≪松山地区の人口区分≫

総人口	9091
15～24歳	813
60～69歳	1336
70～79歳	1013

平成22年度国勢調査
小地域集計(総務省統計局)より

ばったり堂で働こう！

背景とねらい

松山校区は高齢者や子どもが多い地区である。幅広い世代が松山校区住民には多くのニーズがあると考える。それを、学生が働くための材料とし、また学生が地域住民と関われる場を作る。

事例

【とよさと快蔵プロジェクト】
滋賀県豊郷町で滋賀県立大学とNPO法人とよさとまちづくり委員会によって、空き家を改修し、自分たちの下宿や地域交流スペースとして活用する取り組みを進めている。

提案

学生と地域住民、双方のニーズを基にする。「豊橋で一人暮らしをしたい。でもちゃんとバイトして収入を得たい。」という学生には、働く場と住む場を貸し出す。（今回の案は2週間という短い期間として、体験下宿にする。）「若い人たち（学生や地域の方）に話したいこと、伝えたいことがある。」「子どもの面倒を看てほしい。」「買い物に行ってきてほしい。」などその時々にある地域住民からの要望を学生の仕事にする。その仲介役としてBTDを設置する。

BTDヒューマンソリューションズの設置

概要））BTD構成：愛知大学地域政策学部学生
対象：愛知大学学生（学部学年問わず）
豊橋市民
仕組み））・登録制
・2週間単位で学生3名にばったり堂を貸し出す。
・BTDは地域住民のニーズに合わせて学生の仕事を作る。

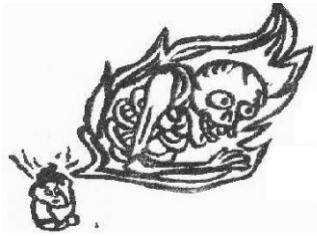
BTDシステムに期待される効果

1. 下宿生活が体験できる。
2. バイトで収入が得られる。
3. 地域に入り込むことで、豊橋のことがもっと知れる。
4. 地域住民と仲良くなれる。（今後の活動に活かすことが出来るコネクションが作れる。）

1. 気軽に頼みごとが出来る場ができる。
2. 学生と交流する場が出来る。

流れ

ばったり堂で働きたい、住みたいと思う学生はBTDに登録。
→BTDは地域からの要望を受け付ける。
→BTDは2週間毎に登録者にメールを送り、3名を募集する。
→BTD内で3名を選別。（性別、学年を選考基準とする。）
→ばったり堂入居！



松山ふれあい スポーツバー

本提案のねらいについて

豊橋市では駅近くのココラフロントでスポーツバーが展開されている。しかし自分たち子供の頑張っている姿を映像として大勢でみるという機会はあまりない。そこで本提案では**子供たちの頑張った姿を**スポーツバーとして大勢でみて、**親子間のつながり**、または**親同士のつながり**を深めていきたい。

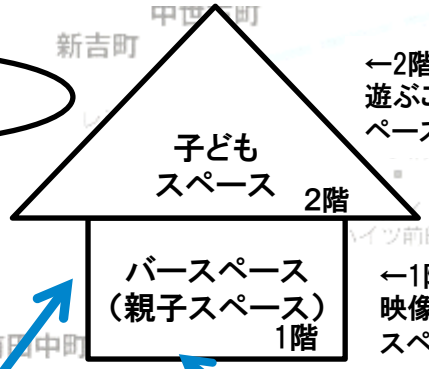
スポーツバーとしては

スポーツバーとして、ばったり堂の「和」の雰囲気を生かし、焼酎や日本酒などを嗜むことができる空間に。

←豊橋産の日本酒「酝々」

←三河の伝統「三河手筒」

バーの構造について



←2階は子ども同士で遊ぶことのできるスペースとして利用

←1階は親子で映像が楽しめるスペースに

利用者の例

	団体数	大会数
野球	37	15
サッカー	13	15
バスケ	10	5

↑豊橋市における少年スポーツ団体の数

←松山地区を中心に活動している少年野球チームの松山ボーイズ

・一チームあたり30名程度

他にも…

地域で活動中の草野球チーム、サッカーチームなど、**大人たちの姿を子どもにみせる**機会を！

まちやに泊まろう :ホテルとコラボした学びの「まちや」宿泊

ねらい

・ばったり堂＝「まちや」に泊まる

・対象者

「まちや」を好む外国人、普通のホテルに飽きたひと、シニアカップル

・特典：地域の学び

この取り組みを行うにあたってホテルの協力を作り上げることが必要。

ばったり堂

対象者

・まちやを好む外国人
・普通のホテルに飽きた人
・シニアカップル

豊橋駅周辺のホテル

ホテル ⟷ ばったり堂「まちや」

地域のまなび

・松山を学ぶ
・市電めぐり
・地場産業をまわる
・地域職体験など

事例

美濃市樋ヶ洞では古民家に泊まる際にカヌー体験をセットで準備することによって家族であったり子供会であったりをターゲットにしてまた、昼間はそこのスペースでカフェもやっている。

協力者

・ホテル
・古民家を提供してくれる方
・特典を行う際の協力者
・情報発信者

ホテルとまちやのコラボ

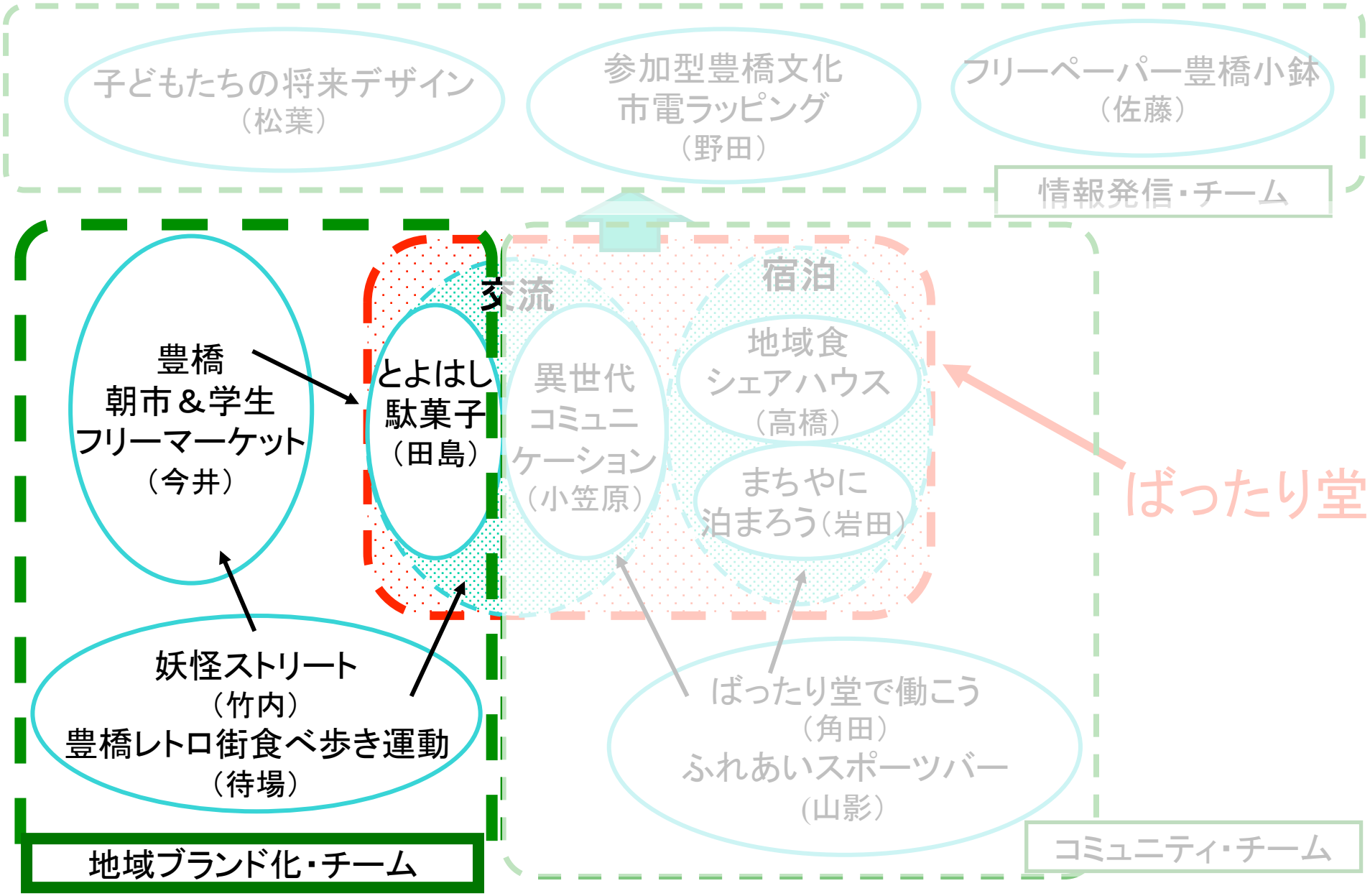
・泊まるのはばったり堂ご飯はホテル
・泊まるのはホテルばったり堂で何かする
・こうしたように双方に利点ができるように取り組む。

これからの取り組み

・「まちや」やホテルで協力してくれる方、また特典に協力してくれる方を探す。
・この宿泊の詳細な値段などを決める。
・ネットなどでこの取り組みを知ってもらう。

5−2　地域ブランド化・チーム

5-2. 地域ブランド化・チーム



豊橋朝市＆学生フリーマーケット

≪背景とねらい≫
豊橋市の駅周辺には大正時代から続く伝統的な朝市があるが、近年利用者が激減し存続の危機に直面している。
その朝市を学生の力でどうにか盛り上げることはできないかと考えた。朝市を知ってもらうこと、これまでの伝統を絶やさないことがねらいである。

≪内容≫
豊橋朝市とコラボをして愛知大学学生によるフリーマーケットを開催する。朝市ではいつもの食品やお花など、学生は主に古着やおもちゃや本など個人が持ち込んだものを売る。
場所は松山公園（小学校となり）としターゲットは小学生とその親とする。
日にちは小学生が休みである休日とする。

お互いに利益がある

学生 ⇔ 朝市

≪メリット≫
・イベント企画に携わることで社会力の向上
・いらなくなった物を売ることができる（物のリサイクル）
・多様な人とのコミュニケーションがとれる

≪メリット≫
・朝市の知名度が上がる
・売り上げを期待できる
・若い人の意見を取り入れることができる
・朝市の伝統を残すことができる

ばったり堂前で行われている「二・七市」

Q　朝市を使った大きいイベントはどう思うか？
A　朝市の復活はみんなが望んでいるから、そういう活動は支えてくれる。学生のお店とか、市場に出てないものを売るといい。

目標

≪他地域の事例≫
麗澤大学「光が丘フリーマーケットとぴかっと朝市のコラボ」　麗澤大学ボランティアサークルRefreeと共同組合光が丘商工会との地域交流協定に基づく地域連携事業。
結果　ぴかっと朝市は有名になり、このイベントは現在では定期的に開催されている。

吉見さん「中柴町自治会長」
～まちづくりディスカッションより～

松山から、朝市をブランド化。豊橋の朝市を守る。

豊橋まちなかづくり ～豊橋レトロ街食べ歩き運動～

○提案の背景
- 豊橋カレーうどんを提供している店や、喫茶店など昔懐かしのレトロ街を食べ歩く。
- 豊橋カレーうどん自体はできて3年だが、カレーうどんは昭和37年に誕生し、歴史は古い。喫茶店も歴史は古くまた、モーニングサービスは豊橋で盛ん。
- 豊橋のまちなかを昔懐かしのレトロ街にし、まちなかのビジネス化をならいとする。また、豊橋カレーうどんを市民に浸透化させ、数年後に豊橋の特産品と言えるでにし、全国に豊橋のブランド化を広める。
- 食べ歩くという身体を動かす「運動」と、豊橋のブランド化を広める活動としての「運動」

○提案内容
- 範囲は豊橋駅～東八町、豊橋駅～柳生橋駅までの範囲内にあるカレーうどん屋、喫茶店
- 回数券を購入してもらい、半券1枚で自由に食べられるようにする。
- 歴史ある市電ともコラボ。カレーうどんの広告をラッピングする。ただし、食べ歩きのため、利用はしない。
- ばったり堂は、移動中の休憩所として使わせてもらう。
- 毎年続けたい活動のため、毎年対象年齢を変える（例：高齢者、親子、学生など）

カレーうどんを提供している主なお店

- 大正庵
- 勢川
- 勢川　新吉店
- 勢川　西駅店
- 蕎麦匠まつや
- 東京庵　ときわ支店
- 玉川　豊橋広小路本店
- みかわの郷　カルミア店
- 東栄庵
- 鈴本 うどん店
- 喜多生
- カレーハウスCoCo壱番屋豊橋前田店

この運動を通して、豊橋のまちなか、特産品をブランド化させる。

↓

数年後には全国へ知れ渡る存在に

とよはし駄菓子の全国ブランド化

豊橋市食料品（24年度）

工場数；118
従事数；4518人
製造品出荷額；
　　943億6561万円
（ゼリーは全国の94%を生産している）

小さな企業も参加

駄菓子屋モデル店舗
→ばったり堂

和の雰囲気が駄菓子屋フィット

とよはし駄菓子番付

・横綱→**ブラックサンダー**
　手軽なお菓子として大人気

・大関→**ヨーグル**
　老若男女問わず昔から有名な駄菓子

・関脇→**人参**
　軽いお菓子だが歯にはさがるので注意

・小結→**ミックスゼリー**
　お寺に置かれている場合が多い!?

・前頭→糸引き飴・**チョコケーキ**・鬼饅頭など

学生がマーケット調査や企業に商品を提案して売ることが可能

ビジネス

通信販売

・遠方で来られない方にもとよはし駄菓子を提供することができる
・詰め合わせで売る

とよはし駄菓子を学園祭で出店する

豊橋市高校13校
豊橋市大学3校

→県外出身者を利用して他県にとよはし駄菓子を広める

若者・奥様の口コミを期待

豊橋妖怪ストリート

提案の狙い

・ばったり堂の妖怪ハンコ展を展開させて豊橋＝妖怪というように妖怪のブランド化
・もともと妖怪とのつながりがあり、町の特色を生かしたまちづくりができる。
・豊橋の妖怪を主に起用。しかし、当然全国区の妖怪も起用する。
・ラインとポイントで各地にアプローチ。
・妖怪のデザインを募集し、かわいい妖怪、かっこいい妖怪にする。親しみやすいデザイン。またオブジェにしたりして町に置くと良さそう。

ココニコ
妖怪のイベントをやる
お化け屋敷、お話など。
子供たちに妖怪のデザインもしてもらう。

水上ビル
イベントとして豊橋版妖怪百鬼夜行をする。各季節ごと。
その際は、妖怪っぽく、火の玉をつるしたり、仮装したり、ビルに絵を貼ったりして雰囲気を出す。
関連の店を出店したり、仮装コンテストなどのイベントもいいと思う。

プラット
芸術文化交流施設。
片身のスズキの劇、アート、デザインの募集、展示。

ばったり堂
この提案のきっかけとなる場所。
妖怪ハンコ展や、各種妖怪のイベントをやっている。

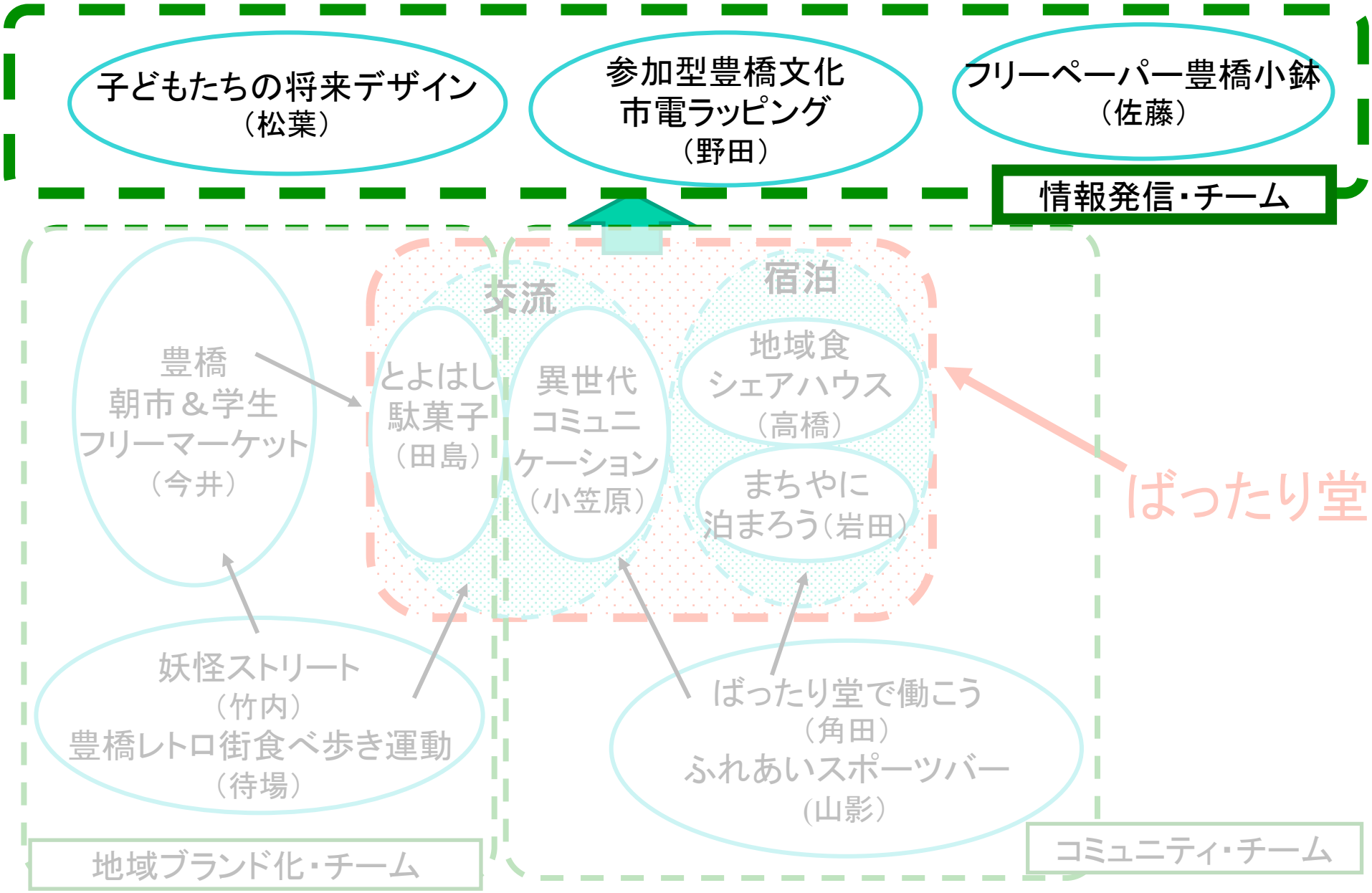
他地域事例
水木しげるロード
（鳥取県境港市）

京都まちづくり実行委員会
妖怪ストリートという商店街があり、さまざまな妖怪イベントがある。

国道259号　地獄道路ということで妖怪のオブジェクトが雰囲気が出そう。

5−3　情報発信・チーム

5-3. 情報発信・チーム

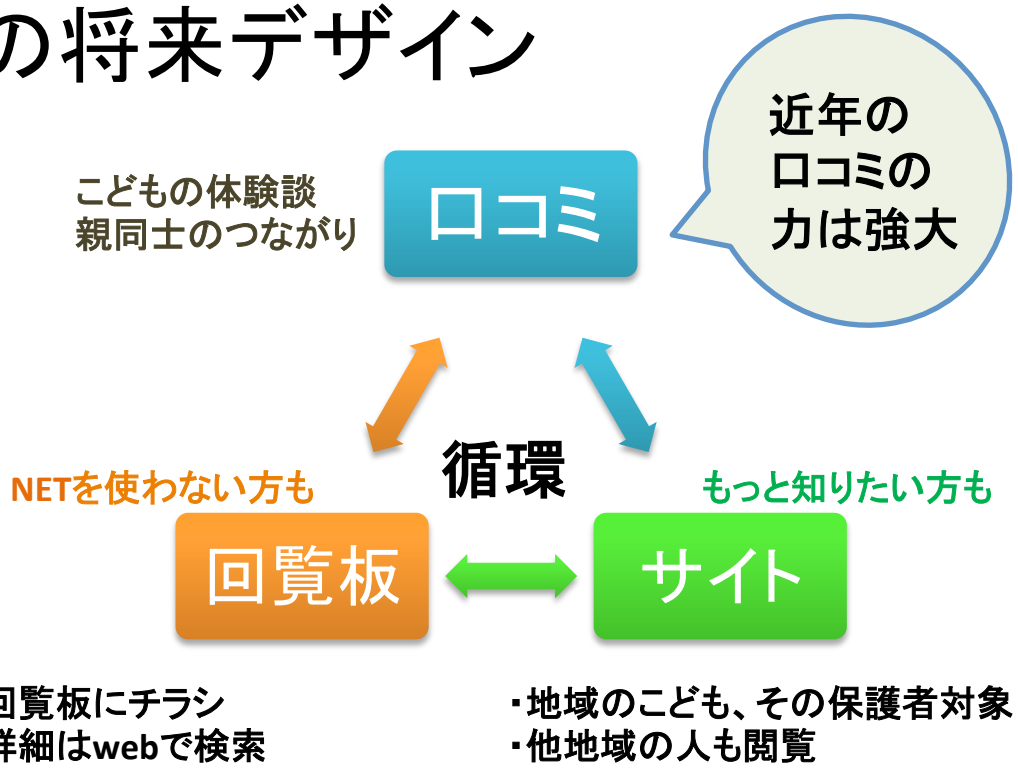

子どもたちの将来デザイン
（松葉）
参加型豊橋文化
市電ラッピング
（野田）
フリーペーパー豊橋小鉢
（佐藤）
情報発信・チーム
交流
宿泊
豊橋
朝市＆学生
フリーマーケット
（今井）
とよはし
駄菓子
（田島）
異世代
コミュニ
ケーション
（小笠原）
地域食
シェアハウス
（高橋）
まちやに
泊まろう（岩田）
ばったり堂
妖怪ストリート
（竹内）
豊橋レトロ街食べ歩き運動
（待場）
ばったり堂で働こう
（角田）
ふれあいスポーツバー
（山影）
地域ブランド化・チーム
コミュニティ・チーム

松山小学校生を対象とした
こどもたちの将来デザイン

目的：豊橋内における「こども」に関するイベントを紹介することで、家にこもりがちになるのを予防し、将来にむけ色々な体験をするのを手助けする。

内容：豊橋市内、松山小学校生徒その保護者を対象に「こども」に関するイベントの内容、日時場所、写真などを記入したチラシの配布、さらに詳細について知ることのできるHPを製作・公開する

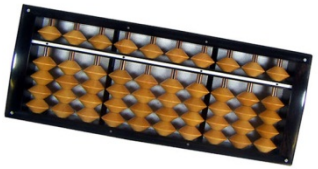
事例：将棋体験
ダンス体験
無料学習体験
そろばん体験
習字体験



例

無料習字体験
（左写真）

そろばん体験
（右写真）



フリーペーパー 「豊橋小鉢」

ねらい

B-1グランプリなど、食べ物でまちが活性化した事例はたくさんあり、飲食店の情報発信で、まちを活性化していくこと。

しかし、飲食店のメイン料理の雑誌はフリーペーパーはたくさんあり、面白くないと思ったので、料理のメインではなく、サブの小鉢に、こだわったフリーペーパを作り、情報発信をしていくのが狙い。

小鉢の魅力

小鉢とは、定食などに一品付いてくる小さな器に盛られた料理のことで、余った食材などで作られる場合が多いようです。だから、小鉢が美味しければ、余ものが美味しいということ、つまり料理が美味しいということに繋がると考え、小鉢にこだわることにした。

既存のフリーペーパーではつまらない！

↓

現在、豊橋市には約1267店舗の飲食店がある！

↓

出張先のサラリーマンや家族連れを狙い駅に面白いフリーペーパを置き、豊橋の飲食店の活性化を狙う！

例

うな丼では出すことのできない尻尾の部分を細かく切り、軽く茹でた春菊と、すり潰した豆腐をうなぎのタレで味付けをしたものです。うなぎの尻尾の焦げの黒い部分と白の豆腐が混ざり合うので、色が悪くなってしまいますが、味はとてもおいしい小鉢になっています。

店名：うなぎ屋〇〇〇
住所：愛知県豊橋市・・・

ばったり堂との関連

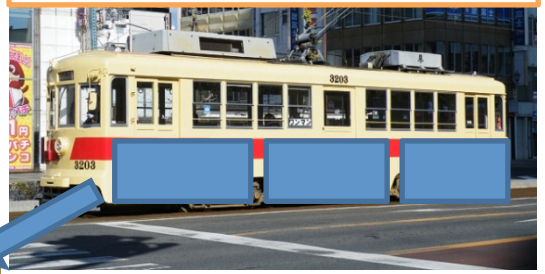
ばったり堂に住み着くという視点から研究を重ねてゆく。

自分はラグーナ蒲郡のレストラン街でアルバイトをしていて、飲食業に興味を持ち、将来は飲食店を経営したいです。
そのこともあり、このような企画を思いつきました。
調査をするにあたって、自分の将来にも繋げていきたいです。

参加型 豊橋文化・市電ラッピングプロジェクト

・市電ボディ広告（3200形）
1両 1ヵ月 315,000円
・電車車内額面広告
13枚 1ヵ月 9,450円
※契約期間　1年契約

多数参加型市電広告



1社による市電広告

1m
20cm

4m

EX.妖怪パンマップ
和菓子屋マップ
カレーうどんマップ
豊橋祭りマップ
朝市マップ
豊橋駄菓子マップ

市電広告の事例

・ヤマサ電車
朱色のバックに「ええじゃないか豊橋」「ええじゃないかヤマサちくわ」をテーマに、豊橋市の名所・旧跡、伝統工芸、特産品などを紹介するイラストが描かれたデザインで運用、自社の宣伝のみならず豊橋市の宣伝もしている。

学生による組織
・サークル
・学生有志

就職活動

プロジェクト宣伝
マップ製作
デザイン製作

・市電ボディ広告（3200形）
315,000円/6箇所/20件=**2625**円
・電車車内額面広告
9,450円/20件=**472.5**円

ご清聴ありがとうございました。